

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)

【公開番号】特開 2000-123750 (P2000-123750A)
【公開日】平成 12 年 4 月 28 日 (2000.4.28)
【出願番号】特願 平 11-276064
【国際特許分類第 7 版】

H 0 1 J 11/02

H 0 1 J 11/00

【F I】

H 0 1 J 11/02 B

H 0 1 J 11/00 K

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 8 月 31 日 (2004.8.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

前述したようなプラズマ表示装置において、前記第 2 及び第 3 電極 1 4、1 5 は透明な IT0 よりなっているので、IT0 成膜とパタニングの製造工程が必要であった。

このような問題に対する一解決案として、特許文献 1 では、各放電領域での IT0 走査電極と共通電極の形状を放電部位方向に突き出るように形成することによって、電極に流れる電流量を低減して放電電圧を下げる方案が提示されている。このような IT0 などの透明電極だけよりなる電極は、材料の電気伝導度が低いことから発生する問題が解決できないため電力損失が発生し、これは性能と材料の側面で今でもプラズマ表示パネル (PDP) 製造の難点になっている。

【特許文献 1】米国特許第 5、6 4 0、0 6 8 号

【手続補正 2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3】

